

とうふねこ座：市川雅子 画

まちがいさがし クイズ

問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。

応募方法

ハガキまたはファクスに、答え（右の絵に○をつける）と住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・広報紙の感想・ご意見を書いて応募してください。

なお、当選者のお名前を広報がまごおり12月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66•1190

応募締切

10月18日（月）当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはユトリーナバーデゾーン無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は12月初旬に郵送します。



「百足のわらじ」(大塚町)

むかし、大塚の村は田沼様の領地であった。ある年、日照りや嵐で米がまったくなくなり、人々はたいそう困っていた。

ある晩のこと庄屋の太郎兵衛の夢の中にスサノオの神があらわれた。

「これ、太郎兵衛、私はいつもお前がお参りしているスサノオの神じゃ。おまえが、みんなの代表となって江戸で殿様にお願いののじゃ。お年貢をしばらく待ってくれとな」

「とてもできません。殿様が怒って私の首を切ってしまうにちがひありません」

「いいことを教えよう。わらじを百足用意して、毎日殿様の屋敷の前へ並べるとのじゃ」

翌朝、スサノオの神のお社に行くこと、松の木が「チャットイケ、チャットイケ、エドヘイケ」というので、慌てて太郎兵衛は村人に訳を話し、わらじを百足作らせた。

殿様の社に着いたが、百足である太郎兵衛を門番がどうしても中に入れてくれない。スサノオのお告げどおり、わらじを脱いで門の横にそろえ、はだしてとほとぼりまで帰った。太郎兵衛は毎日お願いを続けたが、どうしても中に入れてもらえない。

とうとう太郎兵衛のわらじが残り少なくなつて、殿様の屋敷の前のわらじの列は、うっんと長くなった。

ある日、殿様の田沼様が久しかりにかごにのつて外出した時、そこに並んでいるたくさんわらじを見た。

「あれは何か」とお供に聞き、初めて太郎兵衛のことを知った。太郎兵衛は大塚の村が困っていることを殿様に訴えた。殿様はしばらく考え、「今年の年貢はなしにする。お金も貸そう。いつか、少しずつ返すことにすればよい」殿様の優しい言葉に太郎兵衛は泣いた。そしてふと心に殿様の書き付けを入れ、太郎兵衛は急いで大塚に向かった。

※大塚小学校前のスサノオ神社には、太郎兵衛がお礼に奉納したという灯籠がありました。が、平成2年に建て替えられました。

8月号の答え

8月号クイズまちがいさがし
(いたずら地蔵)の答え
応募総数79通
正解者77人
当選者(敬称略・50音順)
三谷北通 大竹恵理
形原町 岡部幸子
水竹町 柴田朔弥
緑町 島田由美子
神ノ郷町 杉浦常子
大塚町 俵 寛人
相楽町 永塚尚克
拾石町 星野智恵美
三谷町 松山美奈子
西追町 吉見昌三
おめでとつございます。賞品は10月初旬に発送します。

